

研修報告

今回は『むつき庵』のおむつフitter 徳田美紀さんを講師に迎え、排泄介助の研修を行いました。
※おむつフitterとは・・・排泄に関わるさまざまな知識を持った方であり、周囲の人や自身の排泄環境をよりよくしようと活動している方々です。
(むつき庵ホームページより)

排泄のメカニズムから始まり、パッドの吸水実験。実際にオムツ（リハビリパンツ）を着用し使用感の体験。パッドの当て方、オムツとパッドの組み合わせ方など、あっという間の1時間30分でした。参加したヘルパーさんからは「もう一度やりたい」「もっとじっくり実践したい」との声も聞こえました。
新しい発見がたくさんあり、とても有意義な時間が過ごせました。

むつき庵ホームページ
はこちら↓↓↓



【研修レポートより】 感想

- ・気持ち良い排泄ケアとは？をグループで話し合いました。自分以外のヘルパーさんの意見が聞けて良かったです。又、排泄のメカニズムを知ることによって便座での座位時の姿勢が大切であることを学びました。
オムツの種類もこれまで扱ってこなかった（見たこともなかった）物もあり、新しい知識を得ることが出来ました。その方にあったオムツを選ぶことでその人らしい生活（気持ち良く快適でいられること）が送れるのだと思いました。オムツの当て方、使い方の正しい知識を得ることが出来、とても勉強になりました。
- ・グループワークで話し合うことの大切さや基礎知識を改めて学習できました。
今まで、ギャザーをしっかり立てることは理解していても、実際にギャザーを手でしっかり添わせながら・・・
なんて知らなかった事なので本当に勉強になりました。
- ・あっという間の2時間でした。排泄のメカニズムから始まり、吸収実験。
おむつとパッドの組み合わせも大切だと分かりました。一人一人、利用者さんの体型や尿量によって使用するおむつやパッドは違ってくるので、きちんとその方に合った物を選ぶことが大切だと思いました。
その時に、自分一人の意見だけではなく、みんなで意見を出し合い、話し合うことが大事だと気付かされました。
- ・今までしていた事でもいろいろ知らなかった事が多く、これからはどうすれば利用者さんにとって、より気持ちの良いケアが出来るのか考えていきたいと思いました。
- ・おむつの吸収実験は本当にわかりやすく時間の経過とともにおむつの中身のポリマーがどうなっていくのか？徳田さんに教えていただき色々なことの知識が深まりました。排泄の部分だけを見ていくのではなく、その人の暮らし全体を見ていくことの大切さが分かりました。
- ・利用者さんで毎朝泥状の便を大量にされる方がいますが、便の広がりや抑え漏れを防止するパッドがあるようで、やわらかい素材なのでパッドの中に入れてもあまりごわつかないとの事。家の方はあまり四点式を汚して欲しくないそうで、苦勞して清拭しています。両端用のパッドもあり、横漏れを防げそうなので欲しいが、値段が高いとの事なので難しいです。在宅介護は金銭面の問題もあるので、利用者さん一人一人きちんと考えることが大切だと思いました。
- ・オムツにも種類がたくさんありその人にあったものを使用することが大事であり、当て方ももれないように工夫しなければいけないと思いました。オムツをあてるということはその人の尊厳を守るという視点ですということをお大事にしないといけないことが分かりました。